

MRI 装置が新しくなりました

シーメンス社製 MAGNETOM Verio 3T (テスラ) 装置から、入れ替え後は3T装置の最上位機種

MAGNETOM Vidaと同様な装置に一新します。

より鮮明な画像を取得することができ、より正確な診断が可能になります。

検査時間も短縮され、患者様への負担も軽減されます。



主な特徴

DirectRF & Tim4G



BioMatrix

マグネットは通常使用下において機能低下をともなわず半永久的に使用できる設計になっており、既存のハードウェアを一新し、様々なアプリケーションを搭載し、より良い医療サービスを提供することができます。

DirectRF



完全デジタル化による高品質な信号の取得

「リアルタイムフィードバックシステム」

マグネットの側面に設置されている送信・受信制御機構が制御情報を高速にやり取りすることで、極めて精度の高い RF 送信が可能となり、ハイクオリティーな 3T 画像を提供することができます

Tim4G



Total Imaging Matrix 4th Generation

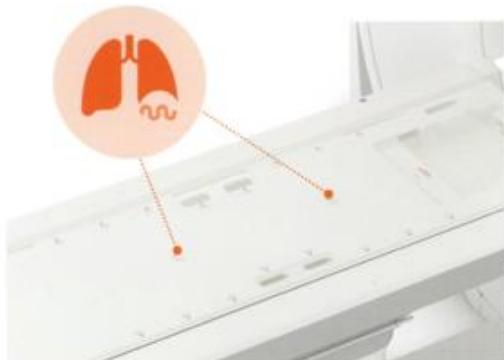
シーメンス独自のコイルテクノロジーが Tim4G (第 4 世代 Tim) へと進化、高画質でスピーディな撮像が可能になりました。最大 204 個のコイルチャンネルが統合し広範囲をカバーします

Quiet Suite



小児や高齢者など、MRI 撮像音が苦手な患者様への対応が拡がります
撮像時間の延長を抑え、高画質を維持しながら、従来より最大 97% の静音化を実現。

BioMatrix Spine 32



患者様は寝台に寝るだけで、呼吸や心拍による臓器の動きを認識します。
これまで必要であった呼吸ベルトや心電同期デバイスのセッティングをすることなく、装置が自動的に呼吸や心電情報を認識しテーブルサイドに表示してくれます。さらに画像収集用のトリガーとして使用できます。

